

環境活動スタート事業（環境活動スタートプロジェクト事業）実施について

1 目的

本県の将来を担う青少年の省エネ意識啓発と、省エネに向けて主体的に考えて行動する人材の育成を目的とします。

2 主催

福島県

3 後催

福島県教育委員会

4 対象者

福島県内の中学生、高校生

5 事業の内容

<環境活動スタートプロジェクト事業>

県内の中学校及び高等学校へ環境問題に関する専門家等の講師派遣や、県の地球温暖化防止対策の取組の紹介によって、中学生や高校生が地球温暖化によって起きる影響を具体的に知る機会等を確保し、自ら考えて実践する環境活動のスタート、ステップアップを支援します。

(ア) 講演会

- ① 内容は、地球温暖化に関するものとします。
- ② 講師を派遣する学校数は7か所を上限とします。

(イ) 県事業の紹介

- ① 県で実施している地球温暖化対策事業についてのチラシを配付します。

(ウ) 実践、普及・啓発

- ① 講演会実施学校は、感想（生徒が感じたこと、考えたこと）を県に提出します。
- ② 県は提出された感想（抜粋）をHP等で広く発信します。
- ③ 生徒に各活動の場で環境活動を実践してもらうことで普及啓発を行います。

(エ) 実施期間

- ① 講演会実施学校の募集は平成30年5月～6月に行います。
※募集期間 平成30年5月7日（月）～平成30年6月8日（金）
- ② 講演会実施学校の決定及び通知は平成30年6月末に行います。
- ③ 講演会は平成30年7月～12月に実施する。前述の日程以外での派遣となる可能性が生じた場合は、協議をして決定します。
- ④ 講演会実施学校は講演会終了後30日以内に感想を提出し、県は随時HP等で情報を発信します。

(オ) その他

- ① 講演会希望申込書の受付等は、委託業者が行います。
- ② 講師の謝礼、旅費等の費用負担はありません。

6 講演会の申込みについて

「講演会申込用紙」にご記入いただき、参加申込書に記載の電子メールまたは FAX によりお申込みください。

より多くの生徒や教職員のみなさまに講演会に参加していただきたいと考えておりますので、大規模校につきましては学年単位又は全校生、小規模校につきましては全校生での参加をできる限りお願いいたします。

7 講師について

派遣する講師は以下の2名のどちらかとなります。講師の希望がある場合は、参加申込書の講師希望欄にご記入ください。

ただし、講師の都合によりご希望に添えない場合があります。

(1) ケンタロ・オノ氏

<経歴>

一般社団法人日本キリバス協会 代表理事（前キリバス共和国名誉領事 大使顧問

仙台出身。キリバス在住約20年、日本人として初めてキリバスに帰化し、キリバスと日本の架け橋として活動。キリバスにおける気候変動が引き起こす影響の講演・環境講座、各種情報提供、交流事業、調査事業、コンサルタント業務、メディアコーディネーション、翻訳・通訳業務など、日本唯一のキリバス専門団体として活動を行っている。

<講演内容>

『地球温暖化問題について、太平洋に浮かぶ小さな島国「キリバス共和国」の文化とそこに暮らす人々の生活を通して、私たちに何ができるか』について講演いただきます。

(2) 安田 宏明氏

<経歴>

気象庁 福島地方気象台 調査官

千葉県出身。昭和61年に長野地方気象台へ入庁。平成29年4月より福島地方気象台調査官として勤務。地球温暖化担当。そのほか、農業気象や気象統計なども行っている。

<講演内容>

『地球温暖化の基礎知識、地球温暖化に伴う日本・福島県の気候の変化、今私たちができることは何か』について講演いただきます。

参考

平成 30 年度 環境活動スタートプロジェクト事業・講演会感想用紙

を聞いて

学校名 _____ 学年 _____ 氏名 _____

☆簡単なアンケートです。あてはまるものに○をつけてください。

- ① 話の内容は理解できたか。(理解できた ・ だいたい理解できた ・ よくわからない)
- ② 地球温暖化などに関心はあるか。(ある ・ あまりない ・ ない)
- ③ 講演を聞いて、自分にもできることがある、または、やってみようと思うことはあったか？
(ある ・ ない) があると答えた場合

☆感想を書いてください。

※感想用紙の一例です。こちらをお使いいただいても、ご自由に様式を変えていただいても構いません。